

4月例会案内の案内です。

4月15日(日) 15:30～場所:

「メートプラザ佐賀」2F視聴覚室

(佐賀市兵庫町藤木1006番地

1:電話33-0003)



#### 研究報告

15:30～16:20 小澤健志「好生館病院御雇いドイツ人医師デーニッツの経歴」

前回の報告の続きをお話いただきます。

16:20～16:50 青木歳幸「佐賀の医学史話／伊東玄朴など（仮）」

伊東玄朴、北島泰順、葉隠に見る医療などよもやま話

どなたか発表されるなら取り下げてもよいです。

16:50～17:00 会員近況報告

島本良順の子孫の島本良治さんもお見えになります。

ぜひ、大勢の皆さんの研究会ご参加をお待ちしています。

#### 会員便り

W. ミヒエル先生から

岡山県倉敷市にある川崎医科大学現代医学教育博物館

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mm/OPEN.HTML>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%8F%BE%E4%BB%A3%E5%8C%BB%E5%AD%A6%E6%95%99%E8%82%B2%E5%8D%9A%E7%89%A9%E9%A4%A8>

の案内をいただきました。2階が健康教育博物館で一般公開されています。3階、4階は学生への医学教育の展示があります。

医学資料の展示、解説に大変参考になる博物館ですね。

# 象先堂と種痘所の現在地



伊東玄朴は、文政十一年（一八二八）に本所馬場町で開業し、師匠猪俣伝次右衛門娘照と結婚した。玄朴二九歳、照一五歳だった。馬牌風（ジフテリア）の治療で有名になり、繁昌しはじめた。その後、天保四年（一八三三）、江戸下谷御徒町に象先堂を開業した。表口二四間、奥行三〇間余の大きな間取りで、診察所、調薬所、門弟寄宿所などの室もある堂々たる塾であった。この下谷和泉町とはどこか、探してみた。



秋葉原駅の東側に大きなヨドバシカメラが建っている。そこを出てすぐ高速道路一号線ででるので、それを横切って、高架橋のたもとを北へ約700メートルほどのところ、高速道路と三ー五号線の交差点、台東区一丁目三〇番地七〜八号地に玄朴居宅跡があった。目印は脇野歯科（東京都台東区一丁目三〇番八号、03-5688-6480）である。

その場所に「伊東玄朴居宅・種痘所跡」という表示板が立っている。その表示板によれば、現在の台東区一丁目三〇番の北半分全域が、象先堂であった。また、安政5年玄朴らが建てた種痘所は、同年に火災にあい、翌年、象先堂のすぐ南に再建された。

天保年間の江戸切り絵図をみると、下谷御徒町通りを北に上がったところに伊東玄朴の住居があることがわかる。

ここが玄朴宅=象先堂



「北は幕臣加藤平内と境を接す」（『伊東玄朴伝』）とあり、西は道を隔てて剣客伊庭軍兵衛の剣術道場だったという。

この七〇〇メートルほど南の佐久間町に、幕府の旧天文台があり、そこには、幕府の漢方医多紀氏の学塾躰壽館（せいじゅかん）があり、多紀氏は漢方医として、蘭方医の活躍を毛嫌いし、蘭方禁止令を出させた。

蘭方禁止令は

近來蘭學醫師追々相増世上にても、信用いたし候もの多有之哉に相聞候、右は風土も違候事に付御醫師中は蘭方相用候儀御制禁被仰出候旨得御意堅く可被相守候

但し外科眼科等外治相用候分は蘭方參用致候ても不苦候

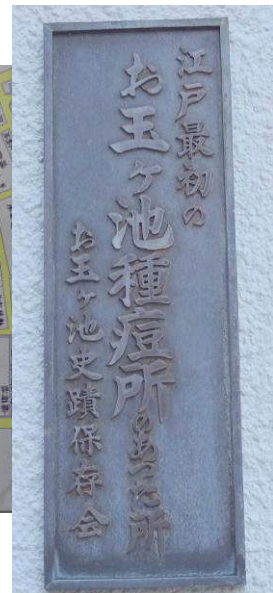
嘉永二己酉三月十五日

阿部伊勢守

というもので、蘭方は風土が違うので用いてはならない、ただし外科と眼科は用いてもよい、という内容だった。外科と眼科はすでに実績があるので、これはもはや禁止するわけにはいかない、しかし本道と重なる西洋内科は禁止するということであった。

しかし、嘉永二年(一八四九)の佐賀藩医鍋島宗建による、種痘(牛痘法)の接種が成功し、佐賀から江戸へ普及して、西洋医学の意義が認識されはじめた。伊東玄朴ら八三名の蘭方医らは、蘭学に理解のあった幕府勘定奉行川路聖謨(かわじとしあきら)に依頼して、安政五年五月に川路の屋敷跡に種痘所を設置することに成功した。

それが神田お玉ヶ池種痘所である。岩本町から南へ三〇〇メートルほど南に向かった交差点の神田松ヶ枝町の町案内看板の手前角に種痘所跡の石碑がある。さらに南に進み、お玉稲荷への道へ入らずに南へ二〇〇メートルほど進んだ岩本町二丁目七番地十一号の加島ビルの角壁面に、お玉が池種痘所の看板やレリーフがある。



種痘所ができて二ヶ月後の安政五年七月三日に蘭方医解禁令が出された。「和蘭醫術の儀先年被仰出候趣も有之候得共當時萬國の長たる所を御採用被遊折柄に付奥醫師中も和蘭醫術兼學致候て不苦候事 安政五年七月三日」と万国のよいところを採用したオランダ医術は学んでよいというものだった。そして、その日に伊東玄朴、戸塚静海の二人のシーボルトに学んだ蘭方医が登城することになった。さて、その続きは、次回。

### 編集後記

佐賀大学も桜が満開です。ただ、例年と違うのはカチガラスが激減しているのではないかと、かわりにカラスが急増している、そんな感じをしています。カチガラスは国の天然記念物、佐賀大学の校章にもなっています。保護していかないとと思います。4月15日の研究会にはお誘い合わせてお出かけください。(青木)